

『社会性を育む』



西尾 修欣 委員

人は決して一人では生きていけない。人は日常生活を営むに当たり、沢山の人と関係を持っている。しかも、自分の好む好まぬに依らず、もとより知る知らずに関わらずである。すなわちそれが社会である。私たちは色々な社会に所属している。最も小さなそれは家族であろうし、地域・職場等々幾重にも重なりさらに大きくそして広く、お互いの生活に少なからず影響を与え合っている。言うならば全ての人社会人である。その中で、子どもたちにとって最も関わりの深い社会とは家庭と学校ではなからうか。家庭にあって子どもたちは、両親・祖父母など大人たちから「他人に迷惑をかけない」というような躰をしてもらい、家族以外の社会に適用できる社会人としての心得のようなものを身に付けていく。また学校では、同年代の大勢の子どもたちと同じ環境の中で過ごすことで、協調性やリーダーシップまた他の子どもたちを思いやる心など身をもって覚えていく、そんな大切な場所である。これら社会人として大切なことを『社会性』と言うことができるだろう。社会の中で生活する人たちが気持ちよく過ごすためにルールやマナーがあるが、これらの社会性を身に付け覚えていく際に大切なことの一つが、私たち大人が子どもたちにそのことをレクチャーするよりも、規範を示すことであると思う。子どもたちが学ぶものは大人たちの言うことを聴くことではなく、大人たちのしていることを真似ているといえるだろう。家庭や学校で覚え身に付けた子どもたちの社会性を、さらに深く広くそして大きく育むためにも、私たち大人はいつも子どもたちから見られていることを意識しつつ、自らの社会性を成長させていかねばならないと言いつつ聞かせている。なぜなら、自分自身それができていないから…。

岐阜県議会教育警察委員会視察

平成28年7月20日岐阜県議会教育警察委員会の方々が、恵那南高等学校魅力化プロジェクトのひとつである、(株)恵那川上屋、恵那市、恵那南高等学校、3者による産官学連携の6次産業教育の取り組みについて視察されました。

大畑教育長から、恵那南高等学校は地元就職率が高く、恵那市にとってなくてはならない学校であり、地域の特産物である「栗」を、生産(1次産業)・加工(2次産業)・販売(3次産業)までの一連の過程を行い、社会人・職業人として地域や企業が求める人材を育成する6次産業教育について説明を行いました。

また6次産業教育を提案していただいた恵那川上屋より、6次産業教育の情報提供は大切であり、教育+観光+福祉を組み合わせた新しい産業を生み出すことにつながると説明がありました。

県議会教育警察委員から、「地元企業との関わりが大事である」、「積極的に特色ある学校づくりを行う高校が残っていく」、「特産品を使い、アイデアを出して魅力あるまち・学校にしていくべきである」、などのご意見をいただきました。

※6次産業とは、農業や水産業などの第一次産業が食品加工・流通販売にも業務展開している経営形態のこと。



保育参観研究会を通して幼児教育の質の向上を図る

*** 教育推進課 ***

恵那市公立のこども園全園において、幼児教育の質の向上を図るため、名古屋学芸大学から講師をお招きし各園年1回の研究会を実施しています。恵那市の幼児教育が目指す「主体性」「社会性」「郷土愛」を育むために、各園では、「願いのある活動」や「やってみいたいという意欲を引き出す活動」「関わり合う活動」等を様々な工夫によって生み出しています。

例えば、やまびここども園では、恵那北小学校の1年生を夏祭りに招待する招待状を作る活動を設定しました。絵の具のブラッシング効果によって形が美しく浮かび上がる不思議さを感じとりながら、1年生に喜んでもらう招待状作りへの願いを膨らませていきました。中野方こども園では、全園で行うピザパーティーのピザ作りをマスターする活動を設定しました。担当がピザ職人に変身することで日常と非日常が交錯し、それが生地が変化する感触や友達と作り上げる楽しさと重なって、園児はピザ作りに引き込まれました。このような活動を他園の多数の保育教諭が参観し合うことで、互いの教育・保育のよさを学び合う研修となっています。



開館 15 周年を記念した、広重の作品展を開催！

*** 中山道広重美術館 ***

歌川広重は江戸時代後期に活躍した浮世絵師です。《東海道五拾三次之内》をはじめとする風景画がよく知られる広重ですが、人物や花鳥など、多岐にわたる分野に筆を染めました。この度当館では、世界的に有名な代表作のほか、美しい名品、隠れた逸品をご紹介します。3期に渡る連続展では、それぞれにテーマを設けて広重の魅力に迫ります。ぜひ会場で、お気に入りの作品を見つけてください。また、当館2階の人気コーナー「浮世絵ナビーム」では版画の重ね摺り制作体験ができます。(無料、ただし入館料は必要)

■毎月第1日曜日を「市民の日」として恵那市民は観覧無料となります。お気軽にご来館ください。

【展覧会のご案内】 ※高校生以下、障がい者手帳をお持ちの方ご本人は無料

開館 15 周年秋季特別企画展 絵師 広重の歩み：9.1(木)～12.18(日)

【前期】綺羅星万華鏡(きらぼしまんげきょう)：9.1(木)～10.2(日)

主な出品予定作/「東海道五拾三次之内」(保永堂版)、「魚づくし」、「絵本江戸土産」、美人画、役者絵ほか

【中期】諸国巡覧絵双六(しょこくじゆらんえすごろく)：10.6(木)～11.6(日)

主な出品予定作/「木曾海道六拾九次之内」(※広重筆図のみ)、「京都名所」、「浪花名所図会」、「行書東海道」、「狂歌入東海道」ほか

【後期】奇想天外名所図会(きそうてんがいめいしよずえ)：11.10(木)～12.18(日)

主な出品予定作/「六十余州名所図会」、「名所江戸百景」、「五十三次名所図会」「国尽張交図会」、「木曾路之山川」、肉筆画ほか

[*友の会会員、美術館ボランティア募集中/公式HP、Twitter、Facebookで情報発信中です。](#)



《東海道五拾三次之内 日本橋》(前期出品)



《魚づくし 鮎》(前期出品)



※人気の摺り体験コーナー